令和６年 12 月１日発行

かまぼこ

第９２号

発　行　地域力推進蒲田西地区委員会
編　集　地域情報紙編集委員会

スノーボード：サーフィンやスケートボードのように横向きになって板に乗り、留め具で足を固定し雪の斜面を滑るアメリカ発祥のスポーツです。スノーボードをする人をスノーボーダーといいます。
ハーフパイプ：円筒を半分にして横に倒した形状の構造物の名前。スノーボードで使用する場合は、競技種目名ともなっています。

プロライセンスを持つ凛さん（左）と華音さん（右）

表彰状を持つ凛さんと華音さん

わがまちの顔
小学五年生でプロスノーボーダーに
坂本　凛　さん

坂本凛（りん）さん（小学六年生）を紹介します。本紙第八七号（令和五年九月一日発行）三面でも紹介しましたので今回はその後の活躍と妹の華音（かのん）さんの活躍を併せてご紹介します。右の写真は凛さんがハーフパイプで飛び上がり宙を舞う瞬間。太陽が照らし雪面に影が映っています。

坂本凛さんは昨シーズンＪＳＢＡ全日本スノーボード選手権大会（スノーボーダーが一堂に集いアマチュア日本一を決める大会）で準優勝、小学五年生のうちにプロスノーボーダーになりました。妹の華音さんも同大会アンダー十二のカテゴリーで優勝、お姉さんの背中を追いかけています。その他の公式戦でも優勝や表彰台を二人とも獲得しています。来シーズンに向けオフトレを頑張る凛さんと華音さん姉妹に取材しました。

Ｑ「プロになりいかがですか？」
Ａ「自信が付きました！」

趣味でスノーボードをしていたお父様の影響で山に行き三～四歳でスノーボードを始めた二人はご両親のサポートの下で日々の練習を楽しんでいます。凛さんの得意技はＣＡＢ七二〇（スイッチスタンスからの二回転）、華音さんの得意技はＦ五四〇（フロントサイドからの一回転半）。二人共将来の夢はオリンピックとのことで、平日は学校が終わると千葉キングス（市原市の練習施設）、休日はカムイみさかスキー場室内ゲレンデ（山梨県の室内ハーフパイプ練習施設）に行き練習します。平日練習後、帰宅は二三時を過ぎます。シーズン中は大会が多く大会から大会に向かうことも。大変な状況を笑顔で話してくださり周りの方のサポートで選手の皆様が力を発揮できるのだと思いました。怪我に気を付けて頑張ってください。

（取材：大良・下山・伊藤委員）

大相撲
城南大田場所開催

日本相撲協会　本場所

日本の国技として親しまれている大相撲は一月初場所・三月春場所・五月夏場所・七月名古屋場所・九月秋場所・十一月九州場所の年間六場所開催される。

一・五・九月には東京国技館で行われている。

本場所といわれる六場所の興行のない期間は、それぞれの所属部屋での稽古や他の部屋へ赴き稽古を続け、次の場所で好成績を上げんと努力を続けるのである。

また、各地に行き大相撲の醍醐味を知ってもらうために、巡業相撲を実施している。

巡業興行

すべての力士が、一同に会し巡業地をめぐり、その土地の人々に興奮と喜びをもたらしてくれているのである。

この巡業も令和六年三月から十二月までの間でも七十六か所にも及ぶとのことである。

大相撲城南大田場所

昨年十月四日に大田区総合体育館で開催されたのに引き続き、今年は、八月二十三日（金）日本工学院アリーナで開催された。

当日は、大勢の相撲ファンが駆けつけ午前九時から大盛況のうちに開幕した。以下スケジュールに従い記述する。

稽古風景・力士ふれあい会では入場者のそれぞれがお気に入りの力士との握手会やら、写真撮影などが嬉々として行われていた。

その次は、**取り組み**である。

序二段・三段目・幕下力士の猛試合である。

普段本場所のここまでの取り組みは、テレビでも早い時間の中継で観戦する機会がないので、これから鍛えられて強くなっていく力士たちの雄姿は新鮮に映ったかもしれない。

相撲甚句

お相撲さん独特の節回しで相撲に関する歌詞を七五調で歌う民謡の一種で行われる相撲甚句は、六人の力士が円になり、ひとりがその中心で鍛えられた（？）喉を通して歌う。その声が場内隅々まで行き届く素晴らしいものであった。

相撲甚句

初っ切り

朝天舞（高砂部屋）・千代北海（九重部屋）のコミックな相撲が始まった。相撲の禁じ手（拳で殴る・目やみぞおちなど急所を突く・喉をつかむ・髪の毛を故意につかむ・胸や腹を蹴る等）などをコミカルな演技で紹介する。

演じる力士と行司の掛け合いが絶妙の間合いで感じられ、抱腹絶倒であった。

初っ切り

この後、**太鼓打分実演・力士質問コーナー**を経て**幕内土俵入り・横綱照ノ富士の土俵入り。**

見慣れている関取に観客からはやんやの声援が上がる。そして**幕内取り組み**となると一番一番大盛況、勝って拍手、負けてため息の連続となる。

最後に、**弓取り式**がありこの大田場所も**打ち出し**となった。

皆さん、次の機会にはぜひ足を運んでみては！

（取材：平塚委員）

編集後記

幼い頃に蒲田に住んでいたことを懐かしく思い出されたと、前号第九十一号を読んだ方から感想をいただきました。その方は現在兵庫県に在住とのことですが、蒲田西地区以外でも広く読まれており嬉しく思います。また、前号の二・三面のレイアウトは、中心に大きく蒲田駅の年表の画像を配置してみましたが、そちらも斬新でよかったと好評をいただきました。作成の励みになりますので、今後ともこのような読者の方からの声をお待ちしております。

蒲田西特別出張所管内

人口	男	33,004 人
	女	30,486 人
	計	63,490 人
世帯		38,230 世帯

令和６年 11 月１日現在

情報紙に対するご意見やご感想、または投稿などございましたら、お気軽に事務局までお寄せください。

事務局　蒲田西特別出張所
大田区西蒲田七－一二－二
電話　３７３２－４７８５

日体大荏原高校　創立120周年

今年創立百二十周年を迎え「１２０本の薔薇」をテーマに荏原祭が九月二十一日（土）・九月二十二日（日）開催されました。各クラスの催事は、文化祭実行委員を中心に長い期間をかけて作り上げました。

ここ何年かは、コロナ感染症拡大等で開催もオンライン等での実施でしたが、今年は若さ溢れる生徒さんたちの力強い、素晴らしい荏原祭を拝見することが出来ました。

生徒さんが着用しているＴシャツは、各学年各クラスでデザイン・企画したもので、背中に自分の子どもの頃の写真をプリントしたもの、バラを印刷したもの等々多種多様で、それぞれのクラスの個性が感じられて、見ているだけで楽しくなりました。

校舎内の各教室では生徒さんたちが製作飾りつけをした迷路・お化け屋敷・ヨーヨー釣り・射的等盛り沢山の企画で皆さん楽しく過ごしていました。また、男子生徒さんのメイド姿も華を添えていました。

正門前には三年生による玉こんにゃく・たこ焼き・揚げパン・焼き鳥・ポップコーン・じゃがバター・チュロス等々模擬店が並び生徒さんたちが大活躍をしていました。

校庭では相撲部のちゃんこ鍋・キッチンカーの出店もあり大盛況で来校者の方々、在校生の皆さんで大賑わいでした。

また、体育館ではｅスポーツ・軽音楽・チアリーディング・カラオケ・ダンス・生徒さんによる学校説明会・ＯＢでボディビルダーの「横川尚隆さん」のスペシャルトークショー等々元気一杯のパフォーマンスが盛大に執り行なわれていました。

ダンス部員三十八名の中の四名の男子部員も女子部員と共にダイナミックな踊りを見せてくれました。

また、北海道の姉妹校である日本体育大学附属高等支援学校からは、生徒さん達が作業学習の「農業」で育てた野菜と「木工」で作成した作品がテント下に並べ販売されていました。お野菜セットのカボチャとジャガイモが一袋二百円・キーホルダー・ペン立て・メモスタンド・コースター・スマホスタンド等好評な売れ行きでした。栃木県からは益子焼やお米・お菓子・瀬戸物・麦わら製品が展示販売されていました。

生徒さん達のはじけるような笑顔とはきはきした受け答えがとても印象的でした。

若い世代の力がみなぎった「荏原祭」楽しい二日間をありがとうございました。

日体大荏原高校の沿革

荏原中学校は明治三七年（一九〇四年）東京府下荏原郡大井村字北浜川に、日本体育会会長、子爵加納久宣によって設立され、令和六年（二〇二四）に百二十年を迎えました。本校の創立に携わった方々は、当時の教育が知識の詰め込みにかたむく傾向にあったことを憂えて、知育・徳育・体育の三つが調和された教育の必要性を訴えてきました。日本体育会は、この理想を実現するために、まず体育教師の養成機関をつくりました。日本体育大学の前身、体操学校です。さらに、教員養成に必要な実習校として本校の前身、荏原中学校を創立しました。荏原中学校では、創立以来、優れた知力に加えて、健やかな精神とたくましい体力とを身につける教育を行ってきました。この創立の精神、知・徳・体を三位一体とする教育の理想は、明治、大正、昭和、平成を通じて本校における教育の根本精神として受け継がれ、次第に根を下ろし、実を結んできました。

学びの舎返還

日本体育会創立の十三年後、本校は当時の荏原郡大井村に「荏原中学」として誕生しました。

戦災、二度の校舎喪失を経て、一九四九年に「荏原高校」となり、現在地に完成した新校舎で再出発しました。その後、生徒数が急増し、体育館、プール、多摩川の第二グラウンドなどを増設しました。創立六十周年記念事業として鉄筋四階建て校舎を、七十周年は武道館、温水プールを含む第二体育館を建設。さらに八十周年には生徒集会所兼食堂、一九八八年には記念体育館を新築、また一九九七年の秋には二号館を建設しました。九八年男女共学に移行。二〇一六年日体荏原高等学校から日本体育大学荏原高等学校と改称。

（取材　佐藤・近藤・高橋委員）

取材にご尽力いただきました先生方ありがとうございました。

荏原祭の様子